

共生・協働の農村づくり運動

～人と自然と地域が支え合う みんなで創る農村社会～

むらづくり通信

VOL.18

地域住民の自治意識を高め、ぬくもりにみちた 自然豊かな地域づくり

～夢蛸たぶかわ2016～

県では、農村の活性化を目指し、「人材の育成」「農村環境の保全」「新たなむらづくり」など、地域の資源を活用し、NPOや都市住民など地域外の活力を取り入れた「共生・協働の農村（むら）づくり運動」を推進しています。

県内各地で、地域の特色を活かした取組が行われ、令和6年度豊かなむらづくり全国表彰事業において、夢蛸たぶかわ2016（枕崎市）が農林水産大臣賞を受賞しました。



鹿児島県農政部農村振興課

令和5年度鹿児島県共生・協働の農村づくり運動表彰事業

県では、地域資源等を活用した魅力あるむらづくりに取り組んでいる地区等を表彰しています。受賞地区の活動内容の詳細については、県ホームページに掲載しています。



農村集落部門

夢螢たぶがわ2016(枕崎市)

～むらづくりの目標・将来像～

「地域住民の自治意識を高めて福祉の増進と青少年の健全育成を願い、他地域との交流を深め教育・文化の振興と活力とぬくもりにみちた自然豊かな地域づくり」という目標に向かって活動を実施している。



～夢螢たぶがわ2016の各種取組～

- ①ホタルなどの希少な生物を保全するため、ビオトープの整備や地元の小学生を対象にした生物多様性に係る研修を実施している。
- ②地区内外の多様な組織と連携し、年始には200名以上が訪れる「田布川鬼火焚」を、初夏にはホタルと音楽が楽しめる「夢螢コンサート」を実施するなど地域の活性化に大きく貢献している。
- ③地区外の養蜂農家と連携し「最適土地利用推進事業」に取り組み、蜜源作物(レンゲ等)を播種し農用地保全に努めている。

祝

令和6年度 豊かなむらづくり全国表彰事業
農林水産大臣賞 受賞
夢蛭たぶがわ2016（枕崎市）



令和6年12月13日 熊本地方合同庁舎

豊かなむらづくり全国表彰事業
九州ブロック表彰式



～交流人口を意識した田布川地区でのむらづくり～

地域を自分たちで守っていくため、関係人口に着目し、イベントの開催や関係者との連携を意識し、むらづくりを展開

遊休農地での
コスモスの播種



遊休農地での
高嶺ルビー開花の様子



オーナー農園制度による
田植えの様子



ビオトープでのコンサートの
様子



田布川での鬼火焚きの様子



株式会社輝楽里たぶがわ
での買い物の様子

令和6年度「かごしま農村創生塾」を開催

県では、地域資源を有効に活用して、「ひとづくり」や「しごとづくり」など地域の活性化を牽引するむらづくりリーダーを育成しています。

第1回 将来の人口予測からムラを考える(令和6年8月22日～23日)

●講演 テーマ：「農村に人と仕事を取り戻す」

講師：(一社)持続可能な地域社会総合研究所

所長 藤山 浩氏

<主な内容>

- ・人口予測プログラムを用いて地域を診断し、将来の人口予測を行うことが重要。

●参加者によるワークショップ(演習)

- ・地域人口と農業就業者の人口分析
→今後の予測と安定化に向けた目標の設定
- ・地域人口の維持に向けた「人口の安定化シナリオ」を作成した上で具体的な取組を検討し、各地域ごとに発表



地域の人口の安定化へ向けた「シナリオ」完成

第2回 むらづくり活動推進研修会への参加(令和6年11月15日)

テーマ：「地域づくりの土台-地域の課題発見及び自走について-」

●講演1 「地域の課題発見・合意形成の第一歩」

講師：弘前大学大学院 地域社会研究科

教授 平井 太郎氏

<主な内容>

- ・「ありたい姿から始め、立ち返る」ということをキーワードに、ありたい「むらの形」を時間をかけて聞いていくように寄り添っていくことが大切。
- ・現場の方々からアイデアを持ちかけられる状態になることが「ありたいむらの形」の形成に繋がる。

●講演2 「活動で重要となる運営における心構え」

講師：特定非営利活動法人ほほえみの郷トイトイ

副理事長兼事務局長 高田 新一郎氏

<主な内容>

- ・課題解決に向け活動したものの上手くいかず、「ありたい姿」から何が必要か整理したことで、むらづくり活動が軌道に乗り始めた。
- ・地域の皆が活躍できる舞台を用意し、ふるさとを次の世代につなぐということをもっと、各種活動を実施している。



第3回 地域の取組事例に学ぶ(令和7年2月12日)

●現地研修

研修先：高隈地区コミュニティ協議会(鹿屋市)

- ・高隈地区コミュニティ協議会の取組紹介
- ・現地視察

●今後の取組に向けて

- ・これまでの受講内容を踏まえ、地域で取り組んだことや今後取り組みたいことについて
- ・今後の抱負について発表



活かそう！むらの宝★ビジネス応援事業の取組地区紹介

地域資源を活用した農村の新たなしごとづくりのスタートアップを支援しています。

～竹子地区コミュニティ協議会（竹子っ好調会）霧島市～

○取組概要

- ①お試し移住住宅「さるく～る竹子」の紹介
パンフレット作成，施設整備
- ②竹切り，農作業や加工品づくりなどの竹子の
暮らしを体験プログラムとして開発・充実化
- ③体験プログラムの講師育成（先進地視察，勉強会の実施）
- ④竹子地区の見どころ，空き家情報，観光スポットなどを掲載したデー
タマップを「竹子の地図帳」と称してアプリのリリースを実施



【移住体験施設】



【勉強会の様子】



【アプリリリース】

～野間地区農泊推進協議会 中種子町～

○取組概要

- ①空き家の改修計画検討
- ②学生等の受入や体験メニューの検討
- ③地域住民を集めた空き家改修ワークショップの開催



【計画検討会】



【空き家改修ワークショップの開催】



鹿児島大学と連携したむらづくり実践支援

大学と地域が連携し、農村資源を活かした地域活性化へ向けた方策等を検討する支援を行っています。

実施地区：始良市北山校区コミュニティ協議会

大学による地域課題や 地域資源の実態調査

現地調査

- ・農村生活の体験及び地元の方との意見交換
- ・新規就農者や移住者等へインタビューによる地域課題の情報収集

現地報告会

- ・地区の現状及び課題の分析結果
- ・鹿児島大学生からの提案
「地域資源を活かした地域活性化戦略づくりの提案」

大学からの地域活性化 戦略づくりの提案

●ランチ会の実施

北山茶屋を再建に向けての実証として、北山でとれる薬膳等を活用しメニュー開発を実施（鹿児島大学、鹿児島女子短期大学と連携）

●ランチ会に関するワークショップの実施

地域の方の意見をワークショップで整理

●学生からの提案

コミュニティカフェに向けた提案を実施 等



現地調査（地域住民への聞き取り）



ランチ会の様子



ふるさと水土里の探検隊

鹿児島国際大学と連携して集落点検を実施し、地域課題の整理や学生による地域活性化策の提案等の支援を行っています。令和6年度は鹿児島市中名地区で実施しました。

第1回（令和6年10月26日）



若者の視点を交えた集落点検

学生たちが地域の方と話をしながら、一緒に集落点検を実施



地域課題の整理

集落点検の結果から、学生と地域の方が一緒に地域の「強み」と「弱み」を整理

第2回（令和7年2月1日）



地域活性化策の提案

学生が「強み」の強化策、「弱み」の改善策を提案し、地域活性化の支援につなげる

農村型地域運営組織（農村RMO）形成取組地区紹介

農村RMOの概要図

出典：農林水産省HP

農村型地域運営組織（農村RMO）※1



※1 農村型地域運営組織（農村RMO：Region Management Organization）

複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織。

農村型地域運営組織（農村RMO）は、地域運営組織（RMO）※2の一形態と整理。

農林水産省では、令和4年度に「農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業」を創設し取組を推進。

※2 地域運営組織（RMO）

地域の暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となって形成され、地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた地域経営の指針に基づき、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織。【総務省HPより】

○天城町地域づくり協議会【天城町】（R4～）

めざす姿：みんなでできる元気な地域づくり

分野	概要
農用地保全	・ 町内スポーツ少年団と連携した保全活動の実践 ・ 景観作物の実証
地域資源活用	・ 急速冷凍機を活用した加工品の実証（スムージー等）
生活支援	・ 移動販売の実証 ・ 生活支援に関する部署との連携



○北山校区コミュニティ協議会【始良市】（R5～）

めざす姿：住んで良かったと実感できる地域の確立

分野	概要
農用地保全	・ 遊休農地の活用方法検討 ・ ヒサカキ等の栽培実証
地域資源活用	・ 黄金北山筍の加工・販売 ・ 竹を活用した新たな加工品の開発
生活支援	・ 地域住民を招いたランチ会の実証



多面的機能支払交付金（水土里サークル活動）について

農業・農村は、食料の生産のほか、国土の保全や水源のかん養、良好な景観の形成などの多面的機能を有しています。

県では、これらの多面的機能の維持・発揮を促進するため、多面的機能支払交付金を活用した「水土里サークル活動」により、地域共同で行う農用地や水路、農道等の保全活動を支援しています。

※水土里サークル活動は、鹿児島県の愛称です。

【近年の農村地域】

- ・過疎化
 - ・高齢化
 - ・混住化
- が進行

何とかしたい！

- ・集落機能の低下
- ・地域共同活動が困難

- ・多面的機能の発揮に支障
- ・水路、農道等の地域資源の保管理に対する担い手の負担増加の懸念

多面的機能支払交付金は、多面的機能を支える共同活動を支援する『**農地維持支払**』と、地域資源（農用地、水路、農道等）の質的向上を図る共同活動や施設の長寿命化のための補修・更新等の活動を支援する『**資源向上支払**』で構成されています。

【農地維持支払】

- ・農地法面の草刈り、水路の泥上げ
- ・農道の路面補修
- ・地域資源保管理構想の作成 など



水路の泥上げ



農道の路面補修

【資源向上支払】

- ・植栽による景観形成
- ・農村文化の伝承活動
- ・施設の長寿命化の補修・更新 など



水路の補修



農村文化の伝承

- ・農業・農村の有する多面的機能の適切な維持・発揮
- ・水路、農道等の管理を地域で支え、担い手への農地集積を後押し

○活動組織の紹介

文化地区環境保全会（出水市文化町）

～ツルが舞い、ホタルが生息できる農村環境を未来につなぐ～

1 地域及び組織の概要

文化地区は出水市の中央部に位置し、二級河川である米ノ津川が近くを流れており、4自治会から構成されています。

文化地区では、農家、非農家を問わず、子供から高齢者までワンチームとなって、ツルが越冬する田園風景及びホタルが生息できる農村環境を維持しています。



田植え体験

2 特徴的な活動内容

① 農業体験活動

小学校と連携して、田植えや稲刈り、芋掘り体験を行い、地域の子供達と交流しています。



ホタル幼虫の放流

② 生態系保全活動

地域の子供にも農村環境に関して興味をもってもらうためホタルの幼虫やカワニナの放流を行っています。

③ 特産館との連携

日当の一部を特産館で使用できる商品券で支払っており、地場産業の振興にも貢献しています。



水路の目地詰め

令和6年度水土里サークル活動シンポジウムを開催

水土里サークル活動の更なる充実・強化を図るとともに、共同活動を契機とした地域づくりへの発展に資することを目的に、水土里サークル活動シンポジウムを令和6年10月3日に開催しました。

●講演 「野生鳥獣による農作物被害を防ぐコツ ～動物と共生する農業とは？～」

・講師 鹿児島大学農学部 准教授 高山 耕二 氏

＜主な内容＞

野生鳥獣による農作物被害を防ぐためには、動物の行動をよく知り、被害対策に使用する機器や柵を正しく設置して、野生動物との共生のしくみを考える必要がある。



●事例発表

- ・文化地区環境保全会(出水市)
- ・野井倉下段地区環境保全協議会(志布志市)
- ・嘉渡環境保全会(龍郷町)



棚田地域の振興

県では、棚田地域の保全活動に対する理解や多様な主体による活動への参加を推進するために、都市住民等を対象とした棚田セミナーを開催しました。

令和6年12月15日(日)に、「つなぐ棚田遺産※」に認定されている指宿市尾下の棚田にて、棚田の持つ多面的機能を発見してもらう棚田体験セミナーを開催！

※「つなぐ棚田遺産」とは、

棚田地域の活性化や棚田の有する多面的な機能に対するより一層の理解促進を図るため、農林水産省が棚田地域の振興に関する取組の優良な棚田を「つなぐ棚田遺産」として認定。



草刈り機体験！



カツオのわら焼き体験！



稲わらを使った
リースづくり！



参加者がセミナーの
様子をSNSで発信！

まずは棚田で色んな体験

棚田米でおいしいご飯

つながる♥（おもい）農村体験事業

地域資源を活用した交流人口の拡大や農村地域の活性化を図るため、旅行業者等と農村地域が連携して、本県の農産物や農村の魅力を知ってもらう農村体験プログラムの開発や情報発信を支援しています。

事業のイメージ

体験プログラムの開発



試行

フィードバック

効果

- ・ 農村地域と旅行事業者等の連携が加速
- ・ 農村地域への関心の高まり

【農村地域】

- ・ 新たな客層の獲得による交流人口の拡大
- 【旅行事業者等】
- ・ ここでしか味わえない体験の提供による顧客獲得

モニターツアー

収穫体験など、旬の農村を体験

水・米・茶どころを訪ねる
湧水町・伊佐市農村体験バスツアー

つながる♥農村体験ツアー
in 渡りたくなる島長島町



ゆんぬんちゅと
農村体験&しま旅inヨロン島

つながる♥ Tourism モニターツアーの様子

お茶畑の真ん中でお茶淹れ体験！
お茶農家だからこそ知っている！
!?特別な淹れ方も伝授！



茶畑でお茶淹れ体験

伊佐米ワークショップ



米農家による、お米ワークショップで、伊佐米のおいしさの秘密を解説！

郷土菓子作り体験



いんげんの収穫体験



みかんの歴史、品種による違い、食べ方、むき方まで！
柑橘ソムリエによるミカンクッキング！

コーヒー農園見学&焙煎体験



広大なばれいしょ畑で、農家直伝のばれいしょ味噌汁を堪能！

ばれいしょ収穫体験



魚捌き体験



ミカンクッキング



グリーンツーリズム・農泊 の取組について



「農泊」とは、農山漁村に宿泊し、滞在中に豊かな地域資源を活用した食事や体験等を楽しむ「農山漁村滞在型旅行」のことです。
地域資源を観光コンテンツとして活用し、国内外の観光客を農山漁村に呼び込み、地域の所得向上と関係人口創出を図ります。

県では、農山漁村地域での修学旅行生の受入や、地域資源を活用したグリーン・ツーリズムや農泊の取組を推進しており、旅行者の安心・安全な受入体制の整備や、各種研修会を実施しています。

かごしまグリーン・ツーリズムフォーラムの開催



グリーン・ツーリズムや農泊に取り組む地域や、事業者を参集し、鹿児島市でかごしまグリーン・ツーリズムフォーラムを開催しました。

【基調講演】

テーマ：「続けられる農泊とは」

内 容：仙北市のこれまでの取組や事務局及び行政の対応について

講 師：秋田県仙北市農山村体験推進協議会
事務局長 坂本 昂嶺 氏

農家民宿・農家民泊の取組推進



農家民宿の開業促進、体験プログラムや農泊コンテンツに関する研修会を開催しました。

また、農家民宿アドバイザーの派遣や、農家民宿へのお試し宿泊の支援による、農家民宿の開業促進を行いました。

農泊実践者の育成

インバウンドの受入拡大



受入体制に関する意見交換や、農家民宿を対象にインバウンドの受入に関する調査を実施しました。

安心・安全な受入体制整備

県では、修学旅行等の農山漁村生活体験学習の受入にあたって、受入側の安全面の意識向上と体験学習の安全性の確保を目的に「鹿児島県における農山漁村生活体験学習に係る取扱指針」を制定しています。

（令和7年3月 内容の一部改正）

令和6年度は市町村へのヒアリングやアンケートによる遵守状況調査を実施しました。



【鹿児島県HP】
取扱指針



共生・協働のむらづくり通信 第18号(令和7年3月発行)

編集・発行：鹿児島県農政部農村振興課

〒890-8577 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10-1

TEL：099-286-3108

鹿児島県ホームページ(むらづくり, グリーン・ツーリズム)

<https://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/nogyo/noson/mura/tsuusin/index.html>

表紙写真：高嶺ルビー畑(田布川)

裏表紙写真：つなげる🍷 Tourism モニターツアー(湧水町)